

関係各位

神戸女学院大学
教務部長 立石 浩一
(公印省略)

専任教員の新規採用について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、本学では下記の要領で専任教員を公募いたします。つきましては、貴大学、貴研究機関において、関係諸方面に広くご紹介いただきたくお願いいたします。

記

1. 専門分野：英語教育
 2. 職名・人員：教授 1名(共通英語教育研究センターに所属)
 3. 勤務形態：常勤(専任または任期制(2年の契約期間終了後、審査を経て専任として採用の場合あり))
 4. 採用予定日：2023年4月1日
 5. 担当授業科目：共通英語関連科目
 6. 応募資格：
 - (1) 博士号取得、あるいはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - (2) 日本語以外を母語とする方の場合、英語で授業を行う能力を有するとともに、日本語で学務を執り行う能力のある者(日本語検定N1相当が望ましい)
 - (3) キリスト者または本学の建学の精神であるキリスト教主義教育に賛同する者
 7. 応募書類：
 - (1) 履歴書(本学所定の様式による、写真貼付、連絡先を明記のこと)
 - (2) 教育研究業績書(本学所定の様式による)
 - (3) 教育・学生指導業績書(本学所定の様式による)
 - ※(1)～(3)については、所定の様式を <https://www.kobe-c.ac.jp/about/koubo> からダウンロードしてください。
 - (4) 英検、TOEIC、TOEFL スコアなど英語力を示す証明書類
(英語を母語としない者のみ)
 - (5) 主要な教育・研究業績2点(抜刷あるいはコピー)
 - (6) 主要な教育・研究業績2点の概要(それぞれ400字程度でまとめること)
 - (7) 共通英語教育研究センターの共通英語教育プログラムにあなたが貢献できる点
(1,200字程度でまとめること)
 - (8) 応募者に関する所見を求めうる方2名の氏名、所属および連絡先(住所、E-Mailアドレス、電話番号)
 8. 応募締切日：2022年5月31日(火) 必着(郵送に限ります。)
 9. 選考方法
書類選考、論文審査で数名に絞り、面接(6月予定)を行います。面接時に30分程度の模擬授業と共通英語教育プログラムに関するディスカッションを課します。
 10. 書類提出先および本募集に関する照会先
〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4-1
神戸女学院大学 共通英語教育研究センター Tel (0798)51-8593
e-mail: ge-staff@mail.kobe-c.ac.jp Fax (0798)51-8593
- *応募書類は簡易書留・レターパックなど配達記録の確認できる方法で郵送するものとし、「専任教員(英語教育)応募書類在中」と朱書してください。
- *応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。また、応募書類は原則として返却しません。著書などの返却を希望される場合は、応募の際に「宅配便の着払い送り状(必要事項記入済)を貼付した封筒」を同封願います。それがない場合は返却いたしかねますので、ご留意ください。

以上

共通英語教育研究センターは、英語を専門としない4つの学科（総合文化学科、音楽学科、心理・行動科学科、環境・バイオサイエンス学科）の1、2年生の英語教育（共通英語教育）を主として担当するために2014年4月に発足しました。共通英語教育のカリキュラム、使用するテキスト、指導方法、学生評価の方針は共通英語教育研究センターが定めています。共通英語教育研究センターが非常勤講師を含む担当教員を指導することで、どのクラスでも同等な内容の授業が受けられ、同じ尺度で成績評価が行われる教育環境を整えています。学生の英語運用力を測る尺度としてIP-TOEICを採用していますが、共通英語教育のカリキュラムが整備された2017年以降では入学後8ヶ月の間に学科平均点が70～80点上昇しています。200～300点の伸びを示す学生も相当数います。1年生の間に600点以上のスコアに達した学生は2年生から通訳・翻訳プログラムを英文学科の学生と一緒に受講することができ、750点以上のスコアに達した学生はEnglish Honors Programを受講できます。また、1年生の間に英語運用力を上げることは、3年生の海外留学、海外インターンシップ参加者の増加に結び付くことが実証されています。

共通英語教育をさらに充実させ、学生たちの専門課程での学びを深化させるために、次の2つの教育改革を進めたいと考え、新たな人材を募集します。

1) 個人学修記録の解析結果に基づいた教育カリキュラム改革

現在の共通英語教育カリキュラムにうまく適応できずにいる学生の英語力を伸ばすことが重要と考えています。学生個人学修記録や学科のIP-TOEIC得点分布を解析し、多角的な観点からカリキュラムを見直すことによって、学生の意欲、英語力の伸びに合わせた新しい教育方法、カリキュラム教材を開発します。教育カリキュラム改革の効果は個人学修記録を解析して検証していきます。

2) ITを活用したオンデマンド教材提供システムの構築

ITを活用した英語教材は非常に多く開発されていますが、本学の学生の特色や英語運用力に見合うものをオンデマンド教材として提供できるシステムを構築します。

これらの目標達成に寄与していただける以下のような人材を専任教員として採用したいと考えています。

- 英語教育理論に基づいた英語教育の実践に経験が豊富な人
- 大学英語教育体制の構築、運営に経験が豊富な人
- 個人学修記録の作成、解析に経験が豊富な人
- ITを活用した英語教材の開発に経験が豊富な人

詳細については以下のアドレスにメールでお問い合わせください。

E-mail: ge-staff@mail.kobe-c.ac.jp

以上